

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス「ぼけっと」			
○保護者評価実施期間	令和7年8月26日		～	令和7年9月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年8月28日		～	令和7年9月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の「好き」「得意」を生かし、集団活動と個別活動を取り入れた活動内容としています。	「4つの基本活動」「5領域」を踏まえて、集団活動は計画し個別活動については、お子様ひとり一人の希望を取り入れて支援を行っています。特に個別活動では、絵本・おもちゃ・音楽・絵描き・ジグソーパズル・積み木・ぬいぐるみなど様々です。ボランティアの協力も得られています。	公共交通機関の活用や外食などにより、社会ルール等を学ぶ機会を提供していきます。また、ボランティアの受け入れをより積極的に行い、活動内容の幅を広げ、お子様の経験の拡大を図ります。
2	小学生から高校生の幅広い交流があり、また、放課後等デイサービス3事業所やみたけの杜との交流が図れています。	年齢の違うお子様との関わりの中で「教える」「教わる」の関係や多様性など、自然な形で双方向の学びの場となっています。3事業所合同の活動も行い、また、みたけの杜の行事にも参加するなど交流を図っています。	様々な交流の機会を通して、人とのつながりを感じ、おもいやりの気持ちを育てるよう支援を充実させていきます。
3	おもちゃ図書館を通して、地域の方々との交流が図られています。	併設している「おもちゃ図書館ふらね」を開放しており、地域の方々が利用されています。また、移動おもちゃ図書館も開催し、交流の機会となっています。	「おもちゃ図書館ふらね」の広報活動を行うとともに、交流イベントを開催します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信と情報共有について	マニュアルの整備や避難訓練などについて、保護者様への周知が行き届いていないことや状況説明が不十分であることについて、説明不足や確認不足が要因であると考えられます。	利用開始時やモニタリングなどの面談時にマニュアルや非常時の対応について、保護者様への説明を行います。また、職員間で情報共有を図ったうえで、保護者様への説明を行います。併せて、事業所だよりやホームページの活用を積極的に行っていきます。
2	ひとりで過ごす個室が少ない。	お子様の特性等に応じて、個室対応を行っていますが、十分ではなく、ドライブや事業所外での活動を提供するなど工夫しています。建物上の課題もありますが、継続した取り組みが必要です。	パーティションなどの活用や活動内容の工夫など、継続して取り組んでいきます。
3			